

② 生徒指導の充実				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○生徒指導・教育相談体制の充実	・問題行動の減少と完全不登校の抑制	・昨年度よりも問題行動数を減少させ、完全不登校0を継続させる。	・生徒指導委員会と教育相談委員会の毎週開催。 ・配慮を要する生徒の情報のデータベース化による、共通理解と適切な支援の推進。 ・教育相談へのSCや関係機関の利活用。 ・学期当初(長期休業明け)の教育相談体制と家庭との連携強化。
教育活動	●心の教育	・生徒の心を耕す教育の推進	・生徒や保護者アンケート、「いじめ・人権・道徳」関連の項目において、昨年度同等以上の高い評価を得る。	・多彩なゲストティーチャーの活用 ・系統的・継続的な人権・同和教育並びに道徳教育の実践。

③ 小・中一貫校開校に向けた研究・実践				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○小中連携の推進	・小中一貫教育の推進	・年間8回以上の合同研究会(授業研究会を含む)を開催する。 ・長期休業中に特別支援並びに教育相談に関する合同研修会を開催する。 ・年間2回以上の職員の合同懇親会を開催する。	・学習メソッド、あしの子(生徒指導)メソッドの実践・検証。 ・縦割り班による、小中交流活動の推進。 ・行事等の一本化の企画・検討。 ・小中PTA合併に向けた協議の推進。

④ 開かれた学校づくりの推進				
	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○学校経営方針	・学校教育目標の周知	・保護者アンケートで、周知率70P以上とする。	・学校便り、学年・学級通信、保健便り、学校HP等すべての通信に学校教育目標を掲載し、周知徹底を図る。
学校運営	○開かれた学校づくり	・学校情報の発信と学校・PTA行事への参加率の向上	・学校の情報発信に対する保護者の評価を75P以上にする。 ・学校行事、PTA行事参加数を昨年度より増やす。	・学校からの情報発信の充実。(学校便り発行、学年・学級通信発行、学校HP更新の回数を昨年度より増やす。) ・地区青少年健全育成委員会への参加、情報交換を行う。 ・魅力ある行事の創造を行い、広報の仕方を工夫する。

本年度の重点目標の評価項目として含まれていない共通評価項目がある場合に記入する。

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●健康・体づくり	・健康・安全教育の推進	・夏休みの20分間走の参加率を90%以上とする。 ・感染症への対応に万全を期し、発症が確認されても感染を最小限に防ぐ。	・熱中症予防に万全を期し、夏休みに20分間走を実施する。 ・年間を通して、感染症に対する危機管理と対応を啓発する。
教育活動	○読書推進	・読書活動の推進	・学校図書館年間1人当たり貸出数を30冊以上にする。	・子どもの読書を推進する活動(読書マラソン、図書館まつり、読書週間等)を充実させる。

●は共通評価項目、○は独自評価項目

